

5.19 介護保険はこれからどうなるのか？

みずほ塾 第5回
in 千葉



歳をとって自分の心身をコントロールすることが難しくなったらどうするか。いずれは誰もが遭遇する問題です。

「家族が支えてくれるから大丈夫」。「介護保険制度があるから心配ない」。そんな期待は通用しない時代になってしまいました。

家族介護でやりくり可能な人々はごく一部。多くの場合は家族の離職、世帯丸ごと貧困化してしまうことも珍しくありません。介護にも保険制度を導入して、リスクを分散しつつ社会全体で支えていくと言われて導入した介護保険制度。しかしこの制度の最大の問題は、サービスを拡充しようとするれば保険料を引き上げざるを得ない仕組みが組み込まれてしまった事。

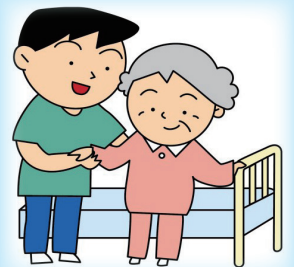
実際に制度発足以来、保険料は引き上げられ続けています。また利用料の値上げ、サービスの内容と質も劣化。介護従事者は、低賃

金と過重労働で集まらず、定着もしません。

国は今年度の制度改定でも、保険料の引き上げ、利用料の2割・3割負担の対象拡大、ケアマネジメントの有料化、要介護1や2のサービスは介護保険から外し自治体の「総合事業」に委ねるなどの方針を打ち出しました。しかし利用者や介護現場からの強い反対の声に押され、今年度に導入されたのは、保険料の引き上げのみ。でも、訪問ヘルパーへの報酬引き下げは強引に進めようとしています。

こんなやり方を認めれば、ますます「保険あって介護なし」「介護崩壊」に拍車がかかることは間違いありません。

それを許さない道を皆さんと考えたいと思います。ぜひご参加ください。



◎徒歩 JR 千葉駅から 15 分、JR 本千葉駅から 15 分、京成千葉中央駅から 12 分
◎バス JR 千葉駅東口バス乗り場②、③番より乗車、中央 3 丁目にて下車

■講師：村山正栄さん

元日本赤十字労働組合中央執行委員長

■5月19日（日）14時から

■千葉市文化センター
セミナー室（6階）

■主催：みずほ塾 in 千葉
運営委員会

■資料代 500 円

■連絡先 (043) 227-6361